

# 2023年度 事業報告書

2023年6月1日から2024年5月31日まで

特定非営利活動法人 チャリティーサンタ

## 1 事業の成果

2023年度を振り返って ～団体の中で「寄付体験」の価値の気づき～

チャリティーサンタでは「子どもに愛された記憶を残す」というミッションのもと、経済的な事情で起きる思い出格差支援を行っています。子ども時代というのは限られており、子ども時代の体験・思い出格差は政策的支援が届きにくい分野であるからこそ、企業・市民の力を集めることが重要だと考えています。

2023年はブックサンタの拡大やシェアケーキの定着をする中で「寄付体験」という価値を発見する年となりました。

当団体が2017年から実施するブックサンタ事業は、寄付者が寄付の本を選び贈るという、通常寄付の価値に「選ぶ楽しさ」を加えることで、多くの人に受け入れられ、広がってきました。

またシェアケーキにおいても2023年度は「自分の好きな芸能人に寄付をする」という今までとは異なった楽しみ方で参加をしてくださる寄付者が数多く参加してくれました。

私たちの活動の始まりであるクリスマスのサンタクロースボランティア活動も「サンタクロースになる」という楽しく特別な体験のもと、ボランティア活動を今までして来なかった層にも響き、参加が広がる活動として根付いてきた経験があります。

私たちは改めてこの寄付やボランティア活動の中における「楽しさ」や「幸せ」を感じる体験の価値に重きをおき、そのエネルギーを子ども達への支援活動につなげていけるように活動を続けて行きます。

### (1)ブックサンタは過去最高の12万冊を突破！新しい寄付の「キッカケ」に

ブックサンタでは賛同書店が新たに約1,000店参加し、より「自分にとって最寄りの書店」でブックサンタに参加できる体制が整ってきました。全国チェーンとしては、紀伊國屋書店、くまざわ書店、ブックファースト、喜久屋書店などが新たに参加しました。参加店舗が増えたことに伴い、参加しやすくなり、実際の店舗で寄付をする人が大幅に増えています。

書店員さんにレジで「ブックサンタをお願いします」と伝えることで、書店員さんと寄付者さんとの交流も生まれ、そのほっこりするようなやり取りの様子をSNSに投稿したものが拡散されるなど、新しい認知のされ方もありました。SNSで知り書店へ足を運ぶ方もおられ、それが初めての寄付体験になった方もいらっしゃいました。「(潜在的に)寄付をしたい、という気持ちはあっても具体的な行動には至っていなかった人」に働きかけることができたことは、きっかけさえあれば、アクションを起こす人は一定数いる、という仮説にも繋がりました。

また、大きな出来事としては、著名作家さん方が賛同して下さった「作家サンタとブックサンタ」が立ち上がりました。私たちが小さい頃からお名前を知っていたような作家サンタたちとのコラボレーションが実現し、多くの「本が好き」「本に人生を救われた」といった方々に認知されるきっかけとなり、新しい形の寄付アクションに繋がりました。

### (2)シェアケーキでの誕生日のお祝いは毎月500人以上の子どもたちに

困窮世帯のお誕生日支援を行う、シェアケーキは2回目のクラウドファンディングを実施しました。クラウドファンディングは誕生日という毎月ある支援企画を運用する上で、計画や基盤をつくってくれるものとなっています。また、クラウドファンディングを中心に支援活動の認知が広がり、定期的な寄付をしてくださる方も増やすことができました。

また、シェアケーキにおいても2023年度は「自分の好きな芸能人に寄付をする」という今までとは異なった楽しみ方で参加をしてくださる寄付者が数多く参加してくれました。

寄付の拡大のおかげもあり、2022年5月末は月に約200台だった当選の誕生日ケーキが、2023年5月末には月に約500台となり、多くの家庭に届けることができるようになりました。

また、助成金を活用し、寄付者を募るためのインターネット広告も本格的に開始しました。まだテスト段階ではありますが、着実に認知が拡大しています。また、認知に伴い、家庭からも日々「子どもの誕生日をお祝いしたいが難しい」というヘルプにも似た声が届くようになりました。

2024年度は寄付体験の設計を行いながら、子どもたちの限られた子ども時代の中での大切な誕生日の思い出を取りこぼさないように働きかけていきます。

### (3) 国外の支援活動も本格的に仕組みづくりへ

Santa Mother's Dream では、長引くコロナの影響で生産体制が整わず、販売を制限していましたが、ネパール国内もコロナ前と同等の状況に戻りつつあることから、本格的に日本国内で販売する段取りを進めることにしました。そのために、現地とのコミュニケーションを積極的に行うための職員の設置や、現地での体制の強化を行いました。

「自分たちが作ったものが、日本で販売される」ということにワクワクしながら作品を作っているネパールのお母さん達。彼女達の中には「本当に自分にできるだろうか」と不安を抱えていた人もいます。しかし、お互いに励ましあいながら、時には技術を教え合い、ひと針ひと針心を込めてフェルトマスコットを制作しています。

また、仕組み作りに合わせて法的なリスクについても外部機関や現地に詳しい弁護士に確認を行い、正しい運営体制で実施できるように対応しています。

## 2 事業の実施に関する事項

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数
チャリティーイベントに関する企画運営事業	クリスマスイブにサンタクロースが訪問するチャリティー企画を運営実施	(準備) 通年 (本番) 12月24日	全国30都道府県42地域	約500名	子どもを持つ一般家庭・子育てサークルなど (有償の一般世帯を対象)	訪問家庭数: 941世帯 訪問児童数: 2852名 ※施設なども含む ボランティア数: 1860名
子どもを持つ困窮家庭に対する体験支援の企画運営事業	チャリティーサンタが企画運営する事業に於いて、子どもを持つ困窮家庭は原則無償とする取組 (通称: ルドルフ基金事業)	通年	全国	10名	子どもを持つ困窮家庭	支援人数: 78,860人

チャリティーグッズに関する企画運営事業	・サンタクロースから手紙が届くチャリティーグッズ販売 ・ネパールで作ったフェルトマスコット販売	通年	ネパール、および日本全国	10名	グッズ購入者	購入者：213名
子どもの体験活動支援事業	子どもたちに向けての体験イベントの企画運営	通年	湘南・香川・大分・宮崎他	約50名	子育て世帯の子どもと保護者	約100名
スタディーツアー事業	実施なし	—	—	—	—	—
市民の社会参画の機会提供及び推進を図るための企画運営事業	ボランティア参加や社会参加を促すための講演会の開催等	通年	全国	2名	ボランティアやCSR活動に関心がある一般市民	受講者：約350名
調査研究、情報収集、情報提供及び啓発事業	岡山親子応援メールの運営	通年・毎週	岡山	3名	子どもを持つ困窮家庭	対象者：約2,000世帯